

目 次

電力用デジタルマイクロ波通信システム デジタルマイクロ信頼度向上
専 門 委 員 会

委員会組織	(1)
第1章 概 説	(4)
1-1 研究の必要性	(4)
1-2 研究報告の概要	(4)
1-2-1 デジタルマイクロ波通信システムに関する実態調査結果	(5)
1-2-2 デジタルマイクロ波通信システムの信頼度維持・向上対策	(7)
1-2-3 キャリアリレー用情報伝送システムの現状と信頼度維持・向上対策	(7)
1-2-4 デジタルマイクロ波通信システム構築に際しての留意事項	(9)
1-2-5 デジタルマイクロ波通信システムの技術動向	(9)
1-2-6 デジタルマイクロ波通信システムの将来の展望と課題	(10)
第2章 デジタルマイクロ波通信システムの現状と課題	(10)
2-1 調査内容	(10)
2-1-1 調査対象	(10)
2-1-2 調査項目	(10)
2-2 調査結果と課題	(11)
2-2-1 デジタルマイクロ波無線装置	(11)
2-2-2 デジタル多重変換装置	(16)
2-2-3 キャリアリレー信号端局装置	(21)
2-2-4 電源システム	(24)
2-2-5 伝搬路	(29)
2-2-6 保守・運用	(36)
第3章 デジタルマイクロ波通信システムの信頼度維持・向上対策	(43)
3-1 デジタルマイクロ波無線装置	(43)
3-1-1 信頼度実績の評価	(43)
3-1-2 信頼度維持・向上対策	(45)
3-2 デジタル多重変換装置	(50)
3-2-1 信頼度実績の評価	(50)
3-2-2 信頼度維持・向上対策	(51)
3-3 キャリアリレー信号端局装置	(52)
3-3-1 信頼度実績の評価	(52)
3-4 電源システム	(52)
3-4-1 信頼度実績の評価	(52)
3-5 伝搬路	(53)
3-5-1 信頼度実績の評価	(53)

3-5-2	信頼度維持・向上対策	(54)
3-6	保守・運用に関する検討	(58)
3-6-1	予防保全	(58)
3-6-2	故障検出の向上	(59)
3-6-3	MTTRの短縮	(59)
第4章	キャリアリレー用情報伝送システムの現状と信頼度維持・向上対策	(63)
4-1	調査内容	(63)
4-1-1	調査対象システム	(63)
4-1-2	調査項目	(63)
4-2	調査結果	(63)
4-2-1	キャリアリレー回線数	(63)
4-2-2	伝送路構成	(63)
4-2-3	スパン数	(64)
4-2-4	伝搬路巨長	(64)
4-2-5	デジタル多重変換装置の台数	(64)
4-3	キャリアリレー用情報伝送システムとしての望ましい構成	(65)
4-3-1	従来の信頼度配分による評価	(65)
4-3-2	機器ごとの不稼働率に注目した信頼度再配分による評価	(66)
4-3-3	キャリアリレー回線構成の必要条件	(67)
4-3-4	信頼度維持・向上対策の適用	(70)
第5章	デジタルマイクロ波通信システム構築に際しての留意事項	(70)
5-1	回線設計上の留意事項	(70)
5-1-1	無線周波数移行にともなう留意事項	(70)
5-1-2	無線容量の大容量化にともなう留意事項	(71)
5-1-3	伝搬路遮蔽物の影響	(72)
5-2	デジタル多重変換装置の中継方法および同期網収容時の留意事項	(72)
5-3	キャリアリレー用情報伝送システム構成上の留意事項	(73)
5-3-1	キャリアリレー用情報伝送システムの同期網収容の可否	(73)
5-3-2	A/D変換装置使用時の留意事項	(73)
5-3-3	保護リレー装置と伝送系の接続に関する留意事項	(75)
5-4	デジタルマイクロ波無線装置の付加機能に関する留意事項	(76)
5-4-1	ルート識別機能に関する留意事項	(76)
5-4-2	補助信号伝送に関する留意事項	(76)
5-5	工事上の留意事項	(77)
5-6	デジタルマイクロ波通信システムの保守・運用上の留意事項	(80)
5-6-1	保守・運用上の留意事項	(80)
5-6-2	作業停止時間	(81)
第6章	デジタルマイクロ波通信システムの技術動向	(82)
6-1	無瞬断切替方式	(82)
6-1-1	無瞬断切替の目的	(82)
6-1-2	無瞬断方式の可能性の検討	(83)
6-1-3	無瞬断切替え実現のための要素技術	(83)

6-1-4	まとめ	(84)
6-2	一周波中継方式	(84)
6-2-1	周波数の有効利用	(84)
6-2-2	一周波中継方式	(84)
6-2-3	一周波中継方式の問題点	(84)
6-2-4	まとめ	(84)
6-3	SDH 適用型のデジタルマイクロ波通信システム	(85)
6-3-1	SDH システムの導入経緯	(85)
6-3-2	電力の SDH システム	(85)
6-3-3	マイクロ波通信の SDH 化検討	(85)
6-3-4	今後の課題	(87)
6-4	ミリ波帯の開発動向	(87)
6-4-1	ミリ波帯の開発状況	(87)
6-4-2	ミリ波帯の利用状況	(87)
6-4-3	ミリ波帯技術	(87)
6-4-4	ミリ波利用システム	(88)
第7章	デジタルマイクロ波通信システムの将来の展望と課題	(88)
7-1	電力通信網の将来動向	(88)
7-2	デジタルマイクロ波通信システムの展望	(89)
7-3	衛星通信システムの利用	(89)
7-4	今後の課題	(89)
7-4-1	装置の機能および装置製作上の課題	(89)
7-4-2	保守・運用上の課題	(90)
付録-1	伝送品質および信頼度の考え方	(91)
付録-2	マイクロ波通信の変遷	(94)
付録-3	デジタルマイクロ波無線装置の同型対策	(96)
付録-4	フェライトスイッチの動作概要	(97)
付録-5	キャリアリレー信号端局装置と電源システムの故障実績 (詳細)	(98)
付録-6	回線瞬断データの収集・処理方法	(100)
付録-7	鉄塔振動が16QAM 方式無線装置の SD に与える影響	(101)
付録-8	キャリアリレー回線構成例	(102)
付録-9	瞬断率不満足区間の諸元および推定される要因	(104)
付録-10	伝搬路遮蔽物の影響評価法	(107)
付録-11	メーカーの故障修理	(109)